

課題	増加する空き家・遊休不動産の活用を推進する中間支援組織の機能不全(物件登録が進まない)
目的	住宅市場を育てるため、空き家活用の中間支援組織を機能させ、モデル事業をつくって全国に事例を広める。 ①空き家のオーナーが安心して相談ができ、物件を預けることもできる、より実行力の高い中間支援組織の構築を図る ②空き家のオーナーに対し、実際に空き家をどのような形で利活用することができるのか、実例を交え示し、金銭的な面での空き家活用への不安を取り除いた形で実際の事例をつくります ③同様の課題を抱える地方自治体等に対し、南伊勢町での取り組みをモデルとして展開。
取組内容	【取組①-1】中間支援組織の構築 【取組①-2】モデル事例の創出 【取組②】三重県南伊勢町での取り組みを全国の自治体・金融機関・地域団体向けに発信
成果	三重県南伊勢町での議論・空き家活用事業例の報告書 全国への取り組み周知の成果報告書

【取組内容の概要】

【取組①-1】中間支援組織の構築

- 1: 専門業者が不在の過疎地において代替人材の組織化を検討
- 2: 空き家問題に関わるステークホルダーと議論を実施
- 3: 既存組織の連携強化と適切な組織形態の検討
- 4: 中間支援組織の運営サポートの実施
- 5: マッチングサイトの改修とサポートの実施

【取組①-2】モデル事例の創出

1 オーナー向け説明会の実施
『座学セミナー』と『町内初めての賃貸物件の視察ツアー』の2部構成で実施
不動産会社が存在しない南伊勢町で、空き家バンクに登録後に売却、賃貸などの不動産取引をどのように円滑に運営していくかが大きな課題となっており、現状抱えている懸念事項(特に賃貸契約における費用負担と責任区分)を理解いただく目的でセミナーを実施。

【取組②】三重県南伊勢町の取り組みを全国の自治体・金融機関・地域団体に発信

同様の課題を抱える地方自治体等に対し、南伊勢町での取り組みをモデルとして展開
1部: まちづくり人材の育成について
2部: 組織構築について(中間支援組織構築)
3部: ファイナンス手法について(行政に頼らない、地域ファイナンス手法)
(COVID-19の影響により、オンラインへ変更し開催予定)

取組①-1
中間支援組織の検討



取組①-2
オーナーセミナーの実施



取組①-1
マッチングサイトの改修サポート



取組①-2
地方自治体関係者セミナー実施

